

# NPO 緑の会

特定非営利  
活動法人  
NPO緑の会  
取手市小文間  
3838-1  
TEL 0297-  
72-8791

## NPO緑の会 第14回通常総会を開催

総会は5月25日(日)取手市「かたらいの郷」で開催され、藤井市長の激励メッセージが読み上げられた後、平成25年度事業報告・活動報告・会計報告・監査報告が承認され、平成26年度事業計画案・予算案が審議・採択されました。また役員改選が行われ、恒川理事長はじめ全役員が再選されました。

総会終了後には、映画「奇跡のりんご」が上映され、10年間ほどの苦闘の後、無農薬・無化学肥料のりんごが実るまでの映画に、皆さん感銘を受けた様子で見入っていました。



挨拶する  
恒川理事長

### 採択された新年度活動方針の要旨

#### A 非営利活動

##### 1. 生ごみ堆肥化事業

①アンケートによる実態調査をまとめる。

②堆肥化技術の研究・開発を進める。

③先進地の視察、研究を進める。

④水質浄化、臭気対策活動

4月～11月の第2、第4

曜日を定例の団子作り等の作業日とする。

■相野谷川の浄化活動

■井野小学校プールに活性液の投入

■霞ヶ浦をきれいにする会の活動

■自宅周辺の排水溝浄化

■臭気対策活動

■藤代公民館トイレの臭気対策活動

■協力事業

■日本橋川・神田川の浄化活動に協力する。

■環境学習活動

■藤代小学校、井野小学校の環境学習に取組む

■研修活動

■会員の資質向上の為、各種

研修活動に参加し、また企画する。

5、東日本大震災復興支援活動

Uネットの支援活動に呼応し、資材の提供、運搬などを積極的に行う。

6. その他

各種イベント、野菜販売会、会報の発行、資材の販売管理など循環型社会実現に向けて積極的に活動を行う。

#### B 収益事業

■ヤーコンの普及活動

■本来事業の円滑化とサポートのため、ヤーコン茶、ヤーコン芋の情報発信を行い、新規販路を拡大するなど積極的に活動する。



総会の様子

## EM 生活セミナー 人も地球も健康になる暮らし

5月24日(土) 東京国際フォーラムで開催

午前の部・映画「祈り～サムシンググレートとの対話～」自主上映

・白鳥監督舞台挨拶

午後の部・EMをわかりやすく学べる基本編

・講演「EMの可能性と未来」 比嘉照夫教授

午前の部、白鳥監督の映画「祈り」は、笑い、愛、感動など心の働きが遺伝子をオンにするという科学的な研究結果を受け、祈りが遺伝子に与える影響をつまびらかにする科学ドキュメンタリー。



舞台挨拶した  
白鳥監督

「心と遺伝子研究会」を立ち上げた筑波大学名誉教授の村上和雄博士の研究を紹介しながら、取材と再現VTRによって祈りの効果を証明するものでした。

村上教授をはじめ、ホリスティック医学の世界的に権威のある、細胞生物学者などの証言を基に、多角的に祈りを分析し、意識研究の第一線に迫ったもので、大変興味深い映画でありました。

映画終了後に舞台挨拶に立った白鳥監督は、次会作となる微生物の大きな可能性について着目した映画「蘇生」を撮影中であることを報告し、その意気込みを熱く語ってくれました。

実際、私たちがその後、6月4日に行った飯田橋「カナルカフェ」の浄化活動では、白鳥監督が自からカメラを熱心に回して私たちの活動を撮っていました。私たちの活動の中心がEM(有用微生物群)であるだけに、どんな映画になるのか、今から大いに楽しみにしたいと思います。 次頁につづく

### EMをわかりやすく学べる基本編

ナビゲーターの方が壇上で実際にEM活性液の仕込み方を実演するなど、とてもわかりやすいEM基本編でした。キッチンシンクの掃除やいやな臭いの消臭効果などEM活性液が幅広く活躍するということが、良く理解できたのではないのでしょうか。

### 比嘉照夫教授の講演「EMの可能性と未来」

講演の前に、比嘉教授の講演をより良く理解するためにという事で、EM研究機構の新谷取締役による前段の解説がありました。



私たちの命に大切な呼吸に必要な酸素は、その2%が活性酸素に変化すると云われています。

活性酸素は呼吸の他にも、ストレスや飲酒、喫煙、睡眠不足、強い紫外線や排気ガス、重金属、農薬や食品添加物、病原菌や火傷、電磁波や放射能でも発生している。

これらの過剰な活性酸素は癌や心筋梗塞、高血圧、糖尿病、アレルギーなどの病気や老化の原因となっている。対応策としては、

- ①発生源から遠ざかる、または発生源を減らす。
- ②活性酸素による酸化(電子消失)を微生物を活用して予防する。
- ③酸化した箇所を微生物が出す電子を利用して修復する。

電子は生命のエネルギー源であって、命のいとなみは、電子の流れであると言うことができること。

最近になって、「整流」と言う言葉が、比嘉教授の講演で聞かれるようになってきましたが、整流とは電子の流れをスムーズに整えること。

EMには有害なエネルギーを有用なエネルギーに転換する力が確認されるようになってきて、その本質的な力はEMの持つ整流力であると考えられているということでありました。パネルを使って、詳しく説明してもらいましたが、これから何回も説明を聞いて理解する必要があると感じました。

### 楽しく有意義であった山形研修バスの旅

NPO緑の会会員・会友42名は、道中長い貸切バスの旅を映画「4分の1の奇跡」や「釣りバカ日記」と楽しいおしゃべりで過ごしながら、サクランボ狩りを楽しみ、「ベネシアさん講演会」参加と「遠藤庭園」見学で有意義な時間を過ごしました。また、宿泊した天童ホテルでは多くの会友と楽しい交換会が持てました。

5/31~6/1



講演するベネシアさん



講演会を主催した遠藤かつゑさんの挨拶



19歳で貴族社会に疑問を持ちイギリスからインドに自分探しの旅に出て日本にたどり着き、40代のときに京都市大原の古民家に移り住み、ハーブガーデンを作り始めた。ハーブには心を落ち着かせる効果があることなどさまざまな話をユーモアを交えて紹介してくださいました。

また、歌詞にたくさんのハーブの名前が出てくる英国の伝統的バラード「スカポロー・ウェア」を美しい歌声で披露する場面もあり、聴衆を魅了していました。

講演会の後は、全国花のまちづくりコンクール個人部門で国土交通大臣賞を受賞するなど多くの受賞歴のある遠藤かつゑさんの庭園を講演会終了後で大変お忙しい中をご本人に案内していただきました。



すばらしい遠藤庭園

編集後記 遠藤庭園でご本人から直接聞いたお話。冬は背丈ほどに積もる雪で、すっかりと覆われてしまうけれど、ほとんど対策はしなくても、春の雪解けとともに、全ての草花が復活すること。また、基本的には水やりはしないこと。草花は水を求めて根を深く張っていくので、なまじ水をやるとういも水をほしがらぬ軟弱なものになってしまふこと。野菜作りにも通じるお話と納得することでした。KF